

読谷村 橋梁長寿命化修繕計画



平成29年1月

読谷村役場 土木建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

(1) 背景
 本村が管理する橋梁は、平成28年度現在で6橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の0%を占めており、30年後の平成58年度には、67%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。

(2) 目的
 このような背景から、村が管理する橋梁は今後、高齢化が進むため、従来の対症療法型管理による修繕及び架替えから、予防保全型の維持管理へと転換を図ることにより、橋梁の維持管理費の縮減を図るとともに、地域の道路ネットワークの安全性を確保することを目的として、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。

平成28年度
0橋
(0%)

↓

平成58年度
4橋
(67%)

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	村道	合計
全管理橋梁数	0	0	6	6
うち計画の対象橋梁数	0	0	6	6
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	6	6
うち平成28年度計画策定橋梁数	0	0	6	6

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路（又は避難経路）に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道，主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 健全度の把握の基本的方針

村では、「道路橋定期点検要領」（平成26年6月国土交通省道路局）に基づいて行う5年に1回の定期点検及び日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常時の点検（パトロール）は、村職員にて実施し、橋梁の安全性を確認すると共に、点検費用の削減を図る。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

村が管理する橋梁の中で、架設後20年以上経過した橋梁は全体の約67%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

(1) 次回点検時期

対象橋梁に対して平成28年度に定期点検を実施しており、次回の定期点検は平成33年度を予定している。

(2) 定期点検結果

表-1 健全度評価一覧

橋梁名	架設年	H23点検結果		H28点検結果	
		判定区分	健全性の診断	判定区分	健全性の診断
1号函渠	1982	B	I	M	II
2号函渠	1982	B	I	C1	II
3号函渠	1982	B	I	M	II
1号橋	1998	B	I	B	I
読谷大橋	2006	B	I	C1	II
比謝川大橋	1991	C	II	C2*	III*

※比謝川大橋の点検結果は、平成26年度の点検結果

(3) 健全性の診断

平成27年度より定期点検では、橋単位において健全性の診断を行うこととなった。

表-2 橋梁定期点検要領における対策区分の判定区分

区分		判定の内容
健全性	対策区分	
I	A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
	B	状況に応じて補修を行う必要がある。
II	C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	M	維持工事に対応する必要がある。
III	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
IV	E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
	E2	その他、緊急対応の必要がある。
	S1	詳細調査の必要がある。
	S2	追跡調査の必要がある。

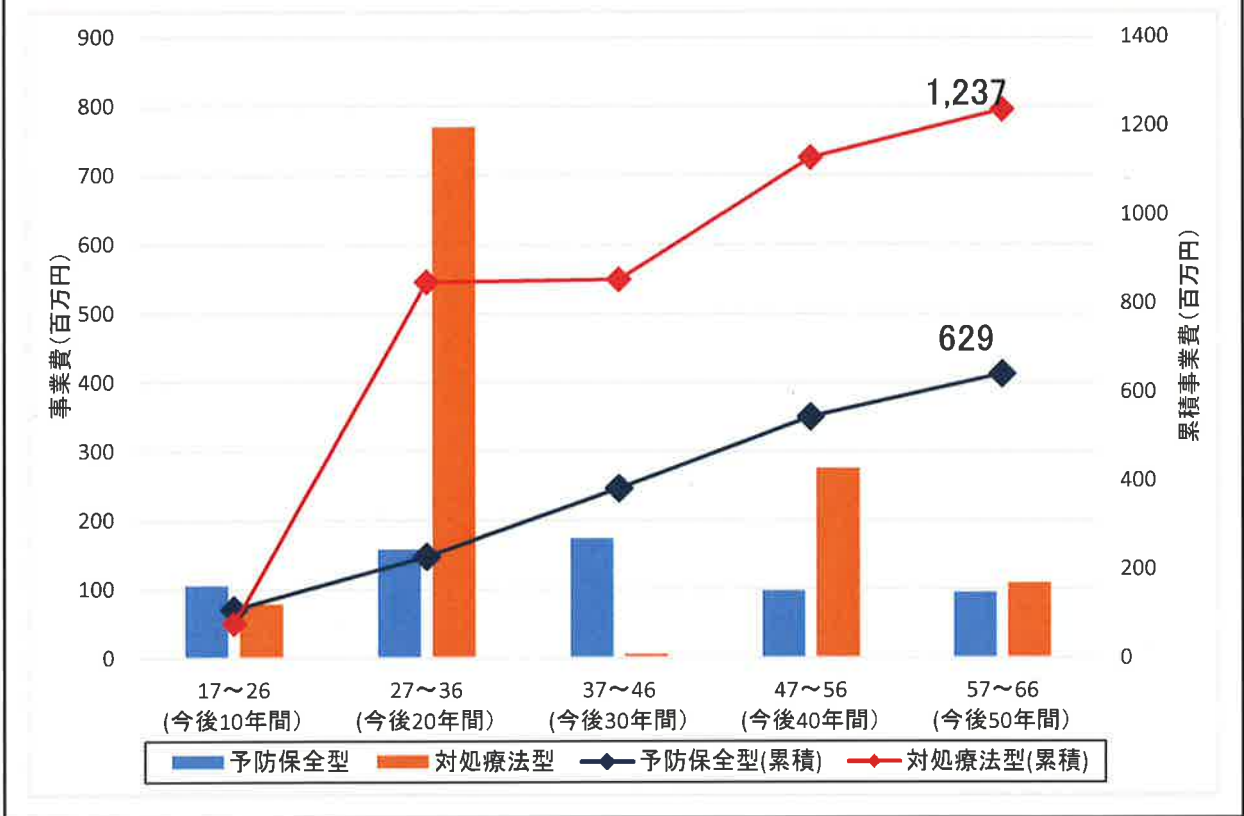
(4) 対象橋梁ごとの概ねの修繕内容や時期など

巻末へ掲載

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する6橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が約12億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が約6億円となり、コスト削減効果は約6億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



橋梁名	路線名称	供用開始年	橋長(m)	最新点検年度	対策の内容・時期										
					2017年 H29	2018年 H30	2019年 H31	2020年 H32	2021年 H33	2022年 H34	2023年 H35	2024年 H36	2025年 H37	2026年 H38	2027年 H39
1号函渠	残波線	1982	2.44	H28			堆積土砂撤去		定期点検		設計費	高欄取替	設計費	定期点検 ひび割れ補修	設計費
2号函渠	残波線	1982	3.10	H28			設計費	断面修復等	定期点検					定期点検	設計費
3号函渠	残波線	1982	2.00	H28			堆積土砂撤去		定期点検					定期点検	設計費
1号橋	比謝4号線	1998	3.90	H28					定期点検		設計費	高欄取替等		定期点検	
読谷大橋	牧原線	2006	160.00	H28			詳細調査 ひび割れ補修等	ひび割れ補修等	定期点検 ひび割れ補修等		設計費			定期点検 設計費	高欄・伸縮装置取替等
比謝川大橋	水釜大木線	1991	93.00	H26	A1,A2橋台補修 ランガ-橋塗装塗替	A1,A2橋台補修 ランガ-橋塗装塗替		点検:定期点検						点検:定期点検	
合計(百万円)					21.54	30.00	11.30	14.66	15.95	0.00	3.25	2.48	0.84	5.11	16.63

※比謝川大橋については、読谷村と嘉手納町との共同管理となるため、読谷村が負担する費用を計上した。
 ※各年度の補修内容については、同一年度内に複数の補修等を実施する場合は、代表的な補修のみを記載。